

リゾーム

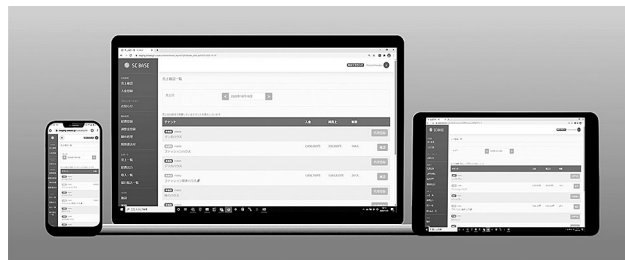
安価で簡単操作、大幅効率化

(株)リゾーム(岡山市北区)は、DXクラウドを使ったSC業務支援システム「SC BASE」を開発し、2021年3月から販売している。インボイス制度に対応済みで、商業施設の売上報告・賃料計算の月額費用を2万9800円(税別30テナント)へと大幅に削減し、簡単な操作で作業時間を格段に効率化することができる。

この「SC BASE」は、①賃料の自動計算、精算書・請求書のデジタル閲覧、②精算シートをスマホで撮って簡単報告、③安心・安全に低費用で運用可能、④コミュニケーションを効率化、⑤契約管理機能が充実、⑥キャッシュレス決済の自動連携機能を提供している。

①では、請求書などを電子データ化することで、郵送費用や手間を大幅に省く。②は、テナント側が精

売上報告・賃料計算を支援



算シートをスマホで撮影して、PC、タブレット、スマホから画像を送付できるマルチデバイス対応により、簡単に売上報告ができる。デベロッパ側は、内容を画面上で確認でき、双方の作業負担が大幅に減る利点がある。

③は、特定の事務所(1



SC業務支援システム「SC BASE」

アドレス)からのみかシステムに入ることができるよう。クラウドを利用するため、保守・点検作業は端末機器だけで済み、他の維持作業はリゾームがすべて請け負う。保守・点検に必要な時間は、月に1~2時間で、システムの稼働率は99

・9%を誇り、常に利用できる状態を保っている。④では、テナントと施設間の情報交流を、「お知らせ機能」を使って簡単に一斉通知できるほか、オンラインでチャット機能を付加すれば、さらに迅速な情報交換ができる。

⑤は、契約日・期間のアラーム機能を装備し、面談記録(文書・写真)も管理、賃貸契約一覧などをCSV出力できる。

⑥はオプション機能で、キャッシュレス決済に自動連携できる。GMOペイメントゲートウェイに対応済みで、CARDNETとCAFISには23年冬ごろに対応する予定。

このほかにもオプション機能として、タイムスタンプ付与機能や、SC売上報告・確定業務自動化ツール「anyGate」を追加できる。タイムスタンプ付与機能は、精算シートを

承認すると、電子帳簿保存法に沿って電子データにタイムスタンプを自動的に付与し、電子データとして長期保存できる。国税監査時にも法令に沿った検索条件でいつでも一括ダウンロードできる。「anyGate」は、売上報告・確定業務をAI・OCRで自動化し、業務を劇的に効率化・省力化する。

同社の技術部 システム開発第4部長の村上徳宏氏は「安価で、セキュリティ性能が高く、商業施設のデベロッパとテナント双方が簡単に操作できることが最大の特徴。21年3月の販売開始から23年7月までの累計で、76の商業施設/770テナントがすでに導入している。10月のインボイス制度開始時には累計導入1000テナント超となる見込み。その後年間50施設を導入増加し、2億~3億円の事業に育てたい。利用者の要望を聞きながら、新機能は常に開発追加していく」と話す。

